

第23回定時株主総会の質疑応答概要について

本年6月25日開催の当社第23回定時株主総会について、その実施概要および株主様との質疑応答の概要について、以下の通りご報告いたします。

1. 定時株主総会実施概要

開催日時 2025年6月25日(水) 午前10:00
開催場所 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
帝国ホテル本館2階 孔雀の間
所要時間 1時間40分(前回:1時間58分)
出席株主数 353名(前回:328名)

2. 質疑応答の概要

株主総会における質疑応答

1) JFEグループの成長戦略について

【回答】

国内においては、電磁鋼板や自動車用ハイテン鋼板の溶融亜鉛鍍金設備への投資を進め、高付加価値品比率を高めるとともに、需要に応じたスリムで強靱な生産体制を再構築することにより収益を確保していく。また、海外においては、インドや北米等の有望な地域で現地の世界トップクラスのパートナーとともに電磁鋼板をはじめとしたJFEグループの技術力を活かせる事業の拡大を積極的に進めていく。

2) JFEスチール東日本製鉄所池上地区の土地問題および会計監査人の監査結果について

【回答】

池上地区については、会社資産として適正な活用、管理を図りたいと考えており、防災、保安上必要な措置を講じながら、空き家の所有者に対する明け渡し要請等を行うとともに、引き続き各行政当局とも連携して取り組みを進めていく。また、会計監査人の監査の方法およびその結果については相当であることを監査役会で確認しており、取締役会においてもその旨の報告を受けている。

3) 監査等委員会設置会社への移行目的、社外取締役による当社株式の保有方針および取締役の選任について



【回答】

経営の意思決定を迅速化し、取締役会における経営方針や戦略に関する議論を充実させるなど、取締役会の監督機能のさらなる強化を目的として監査等委員会設置会社に移行することとした。今後も取締役会のあり方について継続的に議論してガバナンスの強化に努める。また、社外取締役による当社株式の保有方針は定めておらず、あくまで個人の判断である。また、取締役の選任に関しては、出身会社に関係なく指名委員会で相応しい人材について議論を重ねた上で取締役会に答申し取締役会で決定している。

4) JFEスチール東日本製鉄所池上地区の土地問題に関する国会議員への資料提出について

【回答】

仮定の質問についてはお答えできないが、適切に対応する。

5) 高付加価値品の戦略について

【回答】

電磁鋼板や自動車用ハイテン鋼板等の薄板分野だけでなく、需要の拡大が想定される液化水素や液化天然ガスの運搬船に用いられる厚板の商品開発に取り組むとともに、その供給能力の拡大やサプライチェーンの充実を図っていく。また、JFEスチールが強みを持つ高付加価値品については、他社とも十分差別化が可能であるため、引き続き商品の価値に見合った価格で販売し収益の確保に努める。

6) コンプライアンスの強化について

【回答】

コンプライアンスの徹底は、JFEグループとして重要な課題であり、また成長のために不可欠である。ホールディングスの社長が委員長を務めるグループコンプライアンス委員会において基本方針や重要事項を審議・決定し、また企業倫理ホットラインを設置して体制を整備している。内部監査の強化にも取り組んでいるが、社員一人一人のコンプライアンス意識の改善に向けて新たな研修を導入するなどさらなる取り組みを進めていく。

7) 指名委員会等設置会社への移行について

【回答】

将来的にはさらなる監督機能強化が求められることが想定されるが、現時点では、監査等委員会設置会社への移行が最適だと考えている。また、純粋持株会社としての最適なガバナンス体制や業務執行の委任のあり方等について継続して議論を進める。



8) PBR改善および配当について

【回答】

PBR1倍割れについては、JFEグループに対する経済的な将来性に対する不安とカーボンニュートラルに向けた技術面や資金面での懸念が払拭できていないことによる市場の評価であると認識している。株価は重要な経営指標の一つと考えており、JFEビジョン2035を実現しステークホルダーの懸念を払拭することにより、資本市場からの評価を高めていく。また、安定的な当社株式の保有の観点から、下限配当についても経営として実行していく。

9) カーボンニュートラルへの取り組みについて

【回答】

カーボンニュートラル社会の実現に向けた政府方針に沿って、政府主導のプロジェクトとしてNEDO公募事業に鉄鋼各社でコンソーシアムを結成して補助金を受けながら研究開発を進めているが、その技術を実装するためには経済性も不可欠である。倉敷の革新電気炉については、補助金等の政府支援やグリーン鋼材の普及等も含めた経済性を評価して投資を決定しており、今後プロジェクトにより開発された技術についても、経済性をふまえて実装に向けた投資について判断する。

10) 環境管理体制について

【回答】

JFEスチールでは、地球環境委員会を設置して環境管理活動を監督するとともに、各製鉄所においてはISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築している。また、地球環境の保全、地域社会との共生を経営の重要課題としており、引き続き環境負荷低減に向けて万全の体制で臨んでいく。

11) 財務指標の目標について

【回答】

第8次中期経営計画においては、財務目標として資本効率の観点からROE、また財務健全性の観点からDebt/EBITDA倍率とDEレシオを意識して経営に取り組む。

12) 株主向け配布物の費用と配当について

【回答】

配布物の電子化も含め経費削減に取り組んでいる。今後も会社の利益を上げることにより配当していく。

以上

3

